

bench mark

本当の実力を総力調査

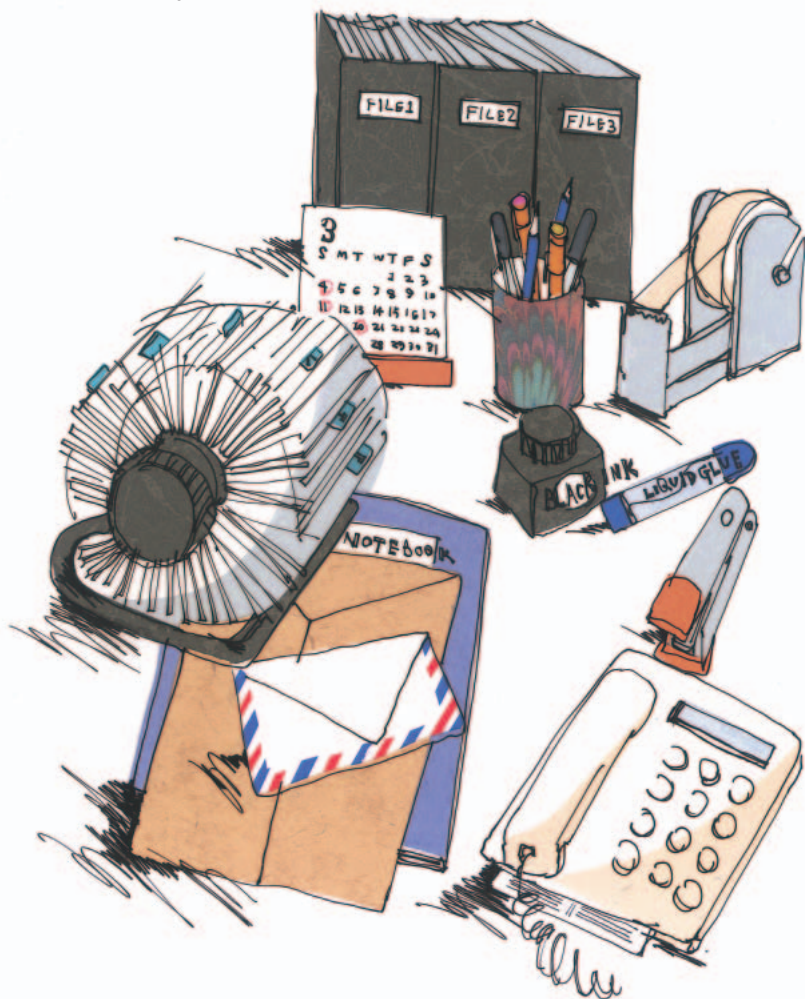
ECベンチマーク

第6回 オフィス用品

執筆：椿 浩和

アドバイザー：上野 学 + ソシオメディア(258ページ~259ページ)

illustration : Asakura Megumi



ASKUL

esupply

kaunet

Offinet.com

orderit

ROCKMONT (ONESTEP)

仕事を円滑に進めるために必要なオフィス用品の数は意外に多い。ノートやペン、帳票類、さらにハサミやホチキスなどの小物まで含めると、膨大な数になる。業務のOA化が進んだ最近では、プリンター用インクやコピー用トナーなどのOAサプライもオフィスに不可欠の用品になってきている。どれをとっても、“なければ仕事にならない”重要なものばかりだ。

ここ数年、オフィス用品を扱うECサイトが増えてきた。その多くは企業向けに運営されている。企業（発注担当者）にとって本当に使いやすいサイトはどこなのか。今回は、主要な6サイトをピックアップして、その実力と使い勝手を検証する。

本記事は2001年2月上旬に調査したものです。サービス内容は随時変更されるので、ウェブサイトでの最新情報を確認してください。

品ぞろえと
対応の早さが
魅力

業務をサポートする オフィス用品サイト



Preview

企業にとっての 使いやすさが鍵になる

お買い物リスト

今回購入した商品

- ・コピー用紙 (A4 / B5): 1ケースまたは1ダース
- ・油性ボールペン: 1ダースまたは1~3本
- ・シャープペンシル用替芯: 5パック
- ・大学ノート (B5): 1~6冊
- ・請求書用紙: 1冊
- ・インクジェットプリンター用インクカートリッジ: 1~3本

今回の検証にあたって、普通のオフィスで必要となる備品を中心にして発注してみた。サイトごとに商品の組み合わせ方を変えることで、配送期間や梱包状況のチェックも行っている。

今回の検証では、「企業にとって」どれだけ役立つかという視点から各サイトの検証を行っている。オフィス用品を扱うサイトは多いが、今回ピックアップしたのは「全国規模で配送」を行っており「法人の利用を前提」としている6サイトだ。kaunetとorderit以外は、法人格を持たない「個人事業主」も使える仕組み(姉妹サイトなど)を用意するが、今回はあくまで法人向けサイトに絞って検証している。

複数の人が働くオフィスでは、いつ、誰が、何を必要とするか予想できない。業務の円滑な進行をサポートするには、「必要なもの」を「必要なタイミング」で手に入ることが重要だ。検証にあたっては、この点を重視して採点基準を作成した。また、企業が利用することを考えると、決済方法や伝票発行の種類も重要になる。決済関連の項目を発注から独立させ、さらに詳細に項目立てしたので参照してほしい。

評価基準と採点方法(計100点)

評価ポイント(大項目)	配点	評価ポイント(小項目)	配点	評価基準の詳細とポイント数
購入可能な商品	25	取り扱いカテゴリー	10	オフィス用品の範囲は広い。紙類、帳票類、筆記用具、小物(のり/テープ/ハサミなど) 印鑑類の5ジャンルについて、それぞれを2点が1点で相対評価する
		取り扱いメーカー	5	同じカテゴリーでも、複数メーカーの商品がある。主要カテゴリーについて取り扱いメーカーを調べ、もっとも多いサイトを5点、以下4~1点で相対評価する
		文房具以外の商品	5	一般的文房具以外の商品も、OAサプライ、OA家具、机上小物、消耗工具、その他の5つに分類し、取り扱いの有無をチェックする。各ジャンルごとに1点を加算する
		特別注文への対応	4	社名入りゴム印や封筒、名刺など、特別な注文に応えられるか。印鑑類、封筒・帳票類、名刺、その他の4つについて特別注文ができるなら、それぞれ1点を加算する
		法令用紙への対応	1	「金銭消費契約書」「給与台帳」など、市販の法令用紙を使う企業も多い。こうした法令用紙の取り扱いについてチェックする。購入できる場合、1点を加算する
登録方法	5	個人と法人の境界線	0	対象とするユーザーの範囲をチェックする。どの規模の「法人」まで利用できるのか、また個人商店やSOHOでも使用できるかを調べる。配点はしない
		会員登録の種類	3	どのような区分で会員登録ができるかをチェックする。ここでは「部署ごとに可能」を3点、「所在地ごとに1登録」を2点、「1社1登録」を1点とする
		会員登録の内容	2	登録と購入、そして請求先の関係をチェックする。ここでは、商品ごとに請求書の宛て先を変更できるかどうかなどを調べ、使い勝手のよしあして2点を加算する
発注方法	15	検索機能の有無と充実度	3	商品を探せる検索機能はあるか。「カテゴリー別」はあって当然なので、ほかの機能(キーワード検索など)があれば使い勝手も考慮して3~1点を加算する
		発注までのステップ数	5	商品の情報ページから、発注が完了するまでのステップ数をチェックする。もっとも少ないサイトを5点、以下4~1の4段階で相対評価する。なお、発注の際にはオプションは一切使用せずに検証する
		複数発注のステップ数	5	複数の商品を同時に発注するときのステップ数をチェックする。ステップ数を明記し、もっとも少ない手順で発注できるサイトを5点、以下4~1の4段階で相対評価する
商品の到着	15	発注の下限	2	発注の下限はどこか。「鉛筆1本」でも可能なら2点、「1ダース」が下限なら1点、「金額の下限が決まっている」なら0点を、それぞれ加算する
		標準配送時間	3	各サイトの標準配送時間をチェックする。条件付きでも当日の配送ができるなら3点、翌日の配送になるなら2点、1週間以内なら0点を、それぞれ加算する
		配送日時指定の可否	3	コピー機など、受け入れ準備が必要な用品を発注したとき、配送日時を指定できるか。日時ともに指定できるなら3点、日にちのみなら1点、指定できないなら0点を、それぞれ加算する
支払い関連	15	配送場所指定の可否	1	登録種別や購入商品の種類によって、配送場所を登録以外のところに指定したい場合もある。場所の指定ができるかどうかをチェックし、指定できるなら1点を加算する
		実際の配送時間	5	一般文具(コピー用紙/ノート/帳票類)が届くまでの日数。当日(会社の営業時間内: 9~18時と仮定)なら5点、当日(営業時間外)なら4点、翌日(営業時間内)なら3点、翌日(営業時間外)なら2点、3日目以降なら0点をそれぞれ加算する
		梱包状況	3	梱包の状況はどうか。「紙が濡れない」「小物が割れない」「帳票類が折れない」の各項目について対策がなされていればそれぞれ1点を加算する
その他	5	支払い方法の種類	5	代金引き換え、銀行振込、郵便振替、カード決済(コーポレートカード)の4つを調べ、各1点を加算する。購入の機会ごとに方法を変更できるなら、さらに1点を加算する
		支払い方法の詳細(振込)	5	「利用者が締め日と支払い日を設定し、一定期間分をまとめて振込」なら5点、「サイトが決めた締め日、利用者が決めた支払い日にまとめて振込」なら4点、「サイトが決めた締め日と支払い日をまとめて振込」なら2点、「そのつど振込」なら0点を、それぞれ加算する
		書類発行の有無	5	「納品書」「請求書」「領収書」の発行状況調べ、各1点を加算する。発行書類をそのつど選べれば1点、最初に書類を指定できればさらに1点を、それぞれ加算する
ユーザビリティ	20	購入履歴	2	これまでに購入した商品の履歴がサイト上で確認できる仕組みがあるかどうかをチェックする。使い勝手も考慮して2~0点の範囲で相対評価する
		連絡メールの有無	1	発注時の確認メールが来るか、また、出荷時やトラブルがあったときなどの連絡メールが来るかどうかをチェックする
		アフターサービス	2	おもに返品についてチェックする。返品の手続きを紹介し、使い勝手によって2点と1点の相対評価とする
ユーザビリティ	20	ウェブデザイン評価	20	別途258ページ~259ページを参照。100点満点の採点で、ここでは1/5点を加算。小数点以下は四捨五入

Review

評価基準に基づいて 各サイトの実力を検証

1

取り扱い カテゴリー

一口に「オフィス用品」と言っても、ジャンルは広い。最近ではコピーなどのOA機器やOAサプライ、家具（椅子やOAラック）なども含めて総称される。だが、基本となるのはやはり文房具だ。まず何よりも、文房具の品ぞろえが充実していることが望まれる。今回検証したサイトで品ぞろえがもっとも豊富なのはkaunetだ。商品がコクヨ製に偏るきらいはあるが、その充実ぶりは特筆に値する。

2

商品 バリエーション

同じボールペンといった商品でも、人によって好みがはっきりしているのが文房具類だ。同一商品のバリエーションは広いほうがいいはず。ここでは筆記用具、帳票類、ノート類の3つを取り上げ、商品バリエーション（メーカーと種類）を比較した。もっとも多いのがASKULとorderitで、どのジャンルでも、ほぼまんべんなく多彩なメーカーの商品を扱ううえ、サイズ違いなど商品の種類も多い。



kaunet

サイトを運営しているコクヨの製品に偏っているが、取り扱い商品の充実度は特筆もの。ほぼすべての文房具を網羅している。



ASKUL

同一商品のバリエーションが豊富なのはASKULだ。同じノートでも、複数メーカーの製品をまんべんなく発注できるようになっている。

3

文房具 以外への対応

業務のOA化に伴い、文房具以外のオフィス用品への需要も高まっている。品目ごとに異なるサイトで購入するよりは、同じサイトで何でもそろったほうが都合がよい。各サイトが、文房具以外の発注にどれだけ対応するかを調べて、下表にまとめた。

同時に、社名入りのゴム印や封筒、名刺などの「特別注文」に対応しているかもチェックした。必須ではないが、対応してくれるれば何かと役立つことは間違いない。

上記の2項目で高い評価になるのがASKULとorderit、kaunet。オフィスで必要なものは、ほぼすべてそろえられる。

[商品バリエーションの例]

	油性ボールペン	大学ノート (B5版で糸綴じまたは平綴じ)
kaunet	全11メーカーの商品をラインナップ。メジャーなメーカーの1つパイロットの製品は扱っていない	コクヨ製品とkaunetオリジナル(1種)のみの取り扱い(全11種類)
ASKUL	アスクルオリジナルを含め、11メーカーの商品をラインナップ。コクヨ製の筆記用具は取り扱いがない	コクヨ製品を含め、5メーカーの商品を取り扱っている。プラス製のノートは種類が豊富
その他	6メーカーの製品をラインナップ。扱いメーカーは少ないが、製品バリエーションは多い(ROCKMONT)	取り扱いメーカーは「極東ノート」のみ。バリエーションが豊富とは言い難い(Offinet.com)

詳細は260ページ

[取り扱いカテゴリー一覧]

	文房具の取り扱いカテゴリー						文房具以外の商品対応			
	紙/ノート	帳票類	筆記用具	小物文具	ファイル	スタンプ	OA機器	OAサプライ	オフィス家具	その他
ASKUL										飲料など
esupply*1	*2	×		×	*2	×				台車など
kaunet										飲料なども
Offinet.com		×								リサイクルトナー
orderit										飲料など
ROCKMONT										デジカメなど

*1: esupplyは、OAサプライを中心に扱うサイト。OA系の品ぞろえは最多。

*2: 取り扱っているが、品目数は少ない。

詳細は260ページ

4 検索の種類

ただでさえアイテム数が多いオフィス用品。その種類が増えるのは非常にありがたいが、このことは同時に「探しにくさ」にもつながりかねない。ユーザーが欲しい商品をすぐに探し出してくれる検索機能は、オフィス用品サイトに必須と言える。検索機能の充実度はkaunetが一番だ。キーワード検索や価格帯検索など、多様な検索方法を用意している。

おもな検索方法

- ・ カテゴリー検索（分類方法がサイトごとに違うため、意外に使いにくい）
- ・ キーワード検索（特定の語句に該当する商品を探す）
- ・ 商品番号検索（カタログに記載された番号などで探す）
- ・ 商品名検索（登録商標などがある場合はわかりやすい）
- ・ 価格帯検索（「 円 ~ 円の範囲」など金額を指定する）

【発注までの流れ】



5 発注時の手続きとステップ数

ビジネスは分刻みで動く。用品の発注に、長い時間はかけられない。必要な商品を見つけてから発注完了まで、少ないステップでできたほうが使い勝手はいいはずだ。最短の手順で注文できるのがOffinet.comだ。発注完了までの手順は4ステップで、カートが別フレームに表示されるので複数の商品を同時に発注しやすい。なお、esupplyは最多の7ステップだが、そのぶん発注するときに指定できるオプションが豊富だ。配送先や請求先を発注ごとに変えるユーザーには、こちらが使いやすい。

6 標準配送時間

通常業務で使う文房具や用紙類は、“すぐに必要”なことが多い。よほど特殊なものでない限り、オフィス用品のほとんどはコンビニなどでそろえられる。発注してから配達されるまで数日かかるようなら、わざわざインターネットで購入する意味がない。今回検証したサイトのほとんどが、標

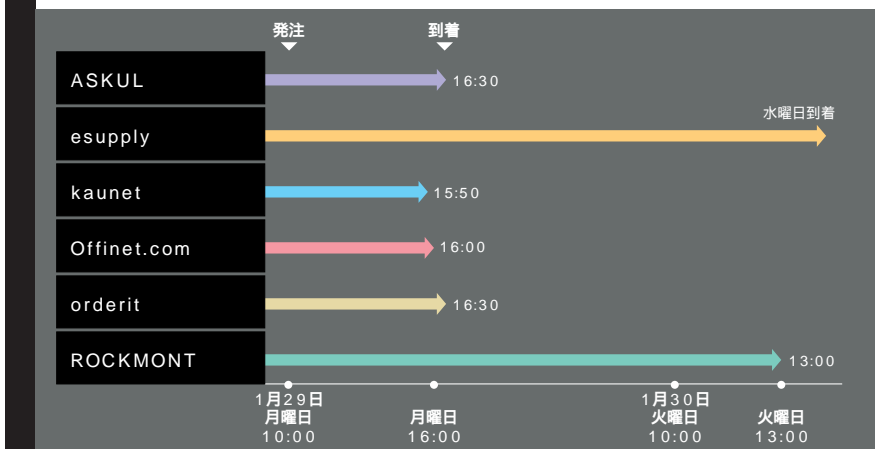
準的な文房具に関しては翌日配送を原則としている。また、地域や申し込み時間の制限はあるが、esupplyとROCKMONTを除く4サイトは当日の配送も行っている。これなら、業務の進行を妨げる心配はほとんどないと言えるだろう。

7 実際の配達時間

当日または翌日に配達してくれると言っても、それが会社の営業時間外では意味がない。今回は横浜にあるオフィスで商品を発注し、実際に配達されるまでの所要時間を調べてみた。結果から言うと、どのサイトも合格点を与えられる。単純に所要時間だけで比べるとkaunetがトップ（5時間50分）となるが、ほかのサイトも6時間前後で到着している。ただし、店舗側が設定している配送ルートによっては多少時間が前後する可能性がある。

なお、当日または翌日配送の最終受け付け時間はサイトによって微妙に異なる。当日配送は11時、翌日配送は18時まで受け付けるASKUL、kaunet、orderitは、やはり使いやすい。

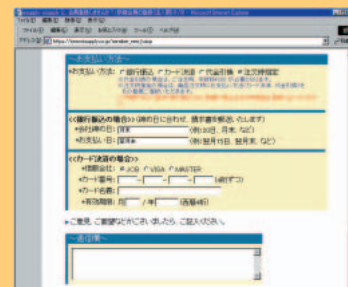
【発注から到着までにかかった時間】





ROCKMONT

原則として購入金額の合計が2,500円未満だと配送料が必要だが、そのほかにも箱売りのコピー用紙(1,270円)などは配送料が無料になる。



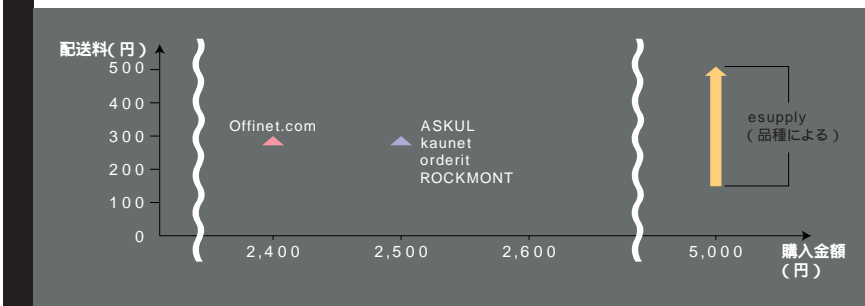
esupply

請求の締め日と支払い日をユーザーが自由に設定できるesupply。利用する企業から見ると実にうれしい仕組みだ。

8 配送料無料の分岐点

配送料金が無料になるかどうかは購入する金額によって決まり、その分岐点はサイトごとに異なる。単純に金額で比較すると、Offinet.comの「2,400円以上で無料」がイチオシだ。ただし、ROCKMONTのように、1,200円程度のコピー用紙も「箱単位で買うと配送料無料」というサービスを実施しているところもある。発注にあたっては、こうしたサービスが利用できるかどうかを見極めたい。

配送料が無料になる分岐点



9 梱包状況

業務に使うオフィス用品は、きちんと梱包して運んでほしい。紙や帳票類が濡れたり折れていたり、鉛筆の芯が折れていたりというのでは、場合によっては業務に差し支えてしまう。商品がどのように梱包されてくるかも気になるポイントだ。

実際に発注してみると、上記の心配は杞憂だった。今回検証した6サイトは、梱包の点についてはまったく問題を感じなかった。紙類はビニールなどにくるまれ、ペン類は緩衝剤で梱包されている。

10 伝票の発行とバリエーション

企業で品物を買うとあとで必ず経理処理を行うことになる。経理処理にあたって提出が必要な書類は会社によっても違うだろうが、最低でも納品書と請求書の2点は欲しいところだ。今回検証した6サイトとも、上記の伝票を発行してくれる。

また、「総務部で購入したが、請求は経理部宛て」など、発注先と請求書の宛て先を変えたいときもある。この需要に応えてくれるのがesupplyとorderit、そして多少発注の手間はかかるがROCKMONTも対応している。自分の会社の経理システムや発注の内容に合わせて、複数サイトを使い分ける手もあるだろう。

11 決済の種類

最終的にどう決済するかも重要なポイントだ。個人での購入だと自分の都合だけを考えればいいので無視しがちだが、企業として支払いを行う場合には自社の経理システムに合った決済方法を利用したい。ROCKMONTを除く5サイトでは、1か月分の購入代金をまとめて決済できる(1か月分の取り引き額を合計した請求書が発行されて代金をまとめて払う)仕組みを持っている。なかでも使いやすいのがesupplyだ。毎月の締め日と決済日をユーザーが決められる(初回登録時に設定する)。発注する企業側のシステムに合わせて設定できるのは、実にうれしいところだ。

[発行伝票と決済方法]

	発行される伝票類			決済の方法						
	納品書	請求書	領収書	銀行振込	郵便振替	代金引換	カード決済	口座振替	その他 / 補足	
ASKUL			x		x	x	x		口座振替は別途申し込む	
esupply			x		x			x	毎回支払い方法を変更できる	
kaunet			x		x	x	x		口座振替は別途申し込む	
Offinet.com			x			x			コンビニでの支払いも可能	
orderit			x		x	x	x		口座振替が原則	
ROCKMONT			x			x	x		商品到着後7日以内に振り込む	

詳細は260ページ

ページ
デザインから
見る

ユーザーにやさしい ウェブサイト評価

アドバイザー：上野学＋ソシオメディア
情報エクスペリエンスデザイナー。「情報アーキテクチャー」や「ユーザビリティ」のコンセプトをベースに、ウェブサイトの評価・調査から、企画・戦略立案、各種デザイン、システム開発などを実践している。
KJump www.sociomedia.com

評価の指標

オフィス用品のECサイトでは、扱う商品の範囲やターゲットの違いなど、運営側のビジョンがサイトの使い勝手に反映されている。すでにカタログ販売で実績のあるところと新規に参入したところを使い勝手の面から比較するのにも興味深い。特に法人向けのサービスでは企業の業務システムまでをも考慮して使いやすくなる方向性が見られ、複雑なコンセプトをどれだけわかりやすくデザインできるかという点が評価される。評価基準は、「サイトデザイン（46点満点）」「主要機能デザイン（26点満点）」「ユーザビリティ（28点満点）」

評価基準

サイトデザイン(46点満点)	主要機能デザイン(26点満点)	ユーザビリティ(28点満点)
情報体系・組織化: 16点	検索機能: 6点	アクセシビリティ: 10点
インターフェイス: 10点	ナビゲーション(メニュー): 7点	学習しやすさ: 4点
インタラクション: 13点	購入までの付加機能: 1点	効率性: 2点
	在庫状況の確認: 3点	記憶しやすさ: 2点
	ヘルプ・解説: 5点	エラーの少なさ: 2点
ビジュアルデザイン: 7点	会員登録: 4点	主観的満足度: 4点
		信頼度・安心度: 4点

点数は合計(サイトデザイン小計+主要機能デザイン小計+ユーザビリティ小計)

ASKUL
www.askul.co.jp

73点 (36+15+22)



トップページでは商品カテゴリー、コンセプト解説、ログインやメンバー登録への誘導など、必要な要素がうまくレイアウトされている。また全ページを通じて表示されるロゴマークもブランドをうまく印象付けているが、全体的にグラフィックのクオリティが低いのが残念。階層を降りていく途中がサブカテゴリー名の表示だけであるなど、クリックした先のコンテンツが予測しにくい。簡単な説明文や代表的な商品の写真を表示するなど何らかの手がかりがあるといいだろう。また、左上に表示されるポップアップメニューはグローバルナビゲーションなので、カテゴリー名のタブの下という位置はインターフェイス要素としての整合性がとれていないのではないかな。縦型のパンくずメニューはわかりやすい。

トップページでは商品カテゴリー、コンセプト解説、ログインやメンバー登録への誘導など、必要な要素がうまくレイアウトされている。また全ページを通じて表示されるロゴマークもブランドをうまく印象付けているが、全体的にグラフィックのクオリティが低いのが残念。階層を降りていく途中がサブカテゴリー名の表示だけであるなど、クリックした先のコンテンツが予測しにくい。簡単な説明文や代表的な商品の写真を表示するなど何らかの手がかりがあるといいだろう。また、左上に表示されるポップアップメニューはグローバルナビゲーションなので、カテゴリー名のタブの下という位置はインターフェイス要素としての整合性がとれていないのではないかな。縦型のパンくずメニューはわかりやすい。

esupply
www.esupply.co.jp/index_h.asp

52点 (28+12+12)



サイトのロゴや色使いなどはきれいにまとまっており、好印象を受ける。カテゴリーの分類はそれぞれがカバーする範囲に差があるので若干戸惑ってしまう。トップページから品番、品名、自由語句で商品を検索でき、ユーザーごとの利用ニーズに対応しているが、左側のグローバルメニューと右側の一覧に機能の重複が見られるため、サイトの構造を把握していないユーザーはどちらをクリックすればいいのかわからず迷うかもしれない。また各カテゴリーに入ったときの商品一覧は、1ページに表示する点数が多く写真も大きいため、読み込むのに時間がかかる場合がある。各商品の詳細ページが用意されているので、一覧ページでは全体を楽に見渡せるような配慮をすれば、さらに使い勝手は向上するだろう。

サイトのロゴや色使いなどはきれいにまとまっており、好印象を受ける。カテゴリーの分類はそれぞれがカバーする範囲に差があるので若干戸惑ってしまう。トップページから品番、品名、自由語句で商品を検索でき、ユーザーごとの利用ニーズに対応しているが、左側のグローバルメニューと右側の一覧に機能の重複が見られるため、サイトの構造を把握していないユーザーはどちらをクリックすればいいのかわからず迷うかもしれない。また各カテゴリーに入ったときの商品一覧は、1ページに表示する点数が多く写真も大きいため、読み込むのに時間がかかる場合がある。各商品の詳細ページが用意されているので、一覧ページでは全体を楽に見渡せるような配慮をすれば、さらに使い勝手は向上するだろう。

kaunet
www.kaunet.com

86点 (45+18+23)



暖色系でかわいらしいキャラクターによるブランディングは、ビジネス色の強いオフィス用品サイトの中で独特な雰囲気を作り上げている。グラフィックやレイアウトもきれいで、一貫したアイデンティティを作り出している。アニメーションやスワップイメージの使い方も控えめで効果的。メーカー名や環境対応状況で検索できるのは便利だ。各カテゴリー内でのフォームを使ったナビゲーションは特殊だが、慣れると非常に使いやすい。また商品の一覧では項目数、写真の大きさ、属性、購入ボタンなどが適切に表示され、気持ちよく買い物ができる。一方、Javaスクリプトによるメッセージダイアログや突然開く別ウィンドウなどは、好みの分かれるところだろう。

暖色系でかわいらしいキャラクターによるブランディングは、ビジネス色の強いオフィス用品サイトの中で独特な雰囲気を作り上げている。グラフィックやレイアウトもきれいで、一貫したアイデンティティを作り出している。アニメーションやスワップイメージの使い方も控えめで効果的。メーカー名や環境対応状況で検索できるのは便利だ。各カテゴリー内でのフォームを使ったナビゲーションは特殊だが、慣れると非常に使いやすい。また商品の一覧では項目数、写真の大きさ、属性、購入ボタンなどが適切に表示され、気持ちよく買い物ができる。一方、Javaスクリプトによるメッセージダイアログや突然開く別ウィンドウなどは、好みの分かれるところだろう。

Offinet.com
www.offinet.com

42点 (17+13+12)



ヘッダーフレーム内のポップアップメニューから直接サブカテゴリーのページにジャンプできるのは便利だが、画面の中で面積をとりすぎており、下のフレームが狭くなってしまっている。また動くアニメーションやマーカーによるテキストのスクロールが同時に複数表示されて落ち着かない。特にサイトアイデンティティの要となる左上のロゴを点滅させるのは考えものだ。また情報の枠組みがインターフェイスに反映されておらず、サイトのコンセプトや構造が理解しにくい。各カテゴリー内ではサブカテゴリーが縦横のマトリクス状に表示されるのも混乱のもとだ。ボタンのように見えるアイコンはクリックできるものとできないものがあり、各カテゴリーについても分類の基準が曖昧に感じられる。

ヘッダーフレーム内のポップアップメニューから直接サブカテゴリーのページにジャンプできるのは便利だが、画面の中で面積をとりすぎており、下のフレームが狭くなってしまっている。また動くアニメーションやマーカーによるテキストのスクロールが同時に複数表示されて落ち着かない。特にサイトアイデンティティの要となる左上のロゴを点滅させるのは考えものだ。また情報の枠組みがインターフェイスに反映されておらず、サイトのコンセプトや構造が理解しにくい。各カテゴリー内ではサブカテゴリーが縦横のマトリクス状に表示されるのも混乱のもとだ。ボタンのように見えるアイコンはクリックできるものとできないものがあり、各カテゴリーについても分類の基準が曖昧に感じられる。

orderit
www.orderit.ne.jp

66点 (35+14+17)



大企業における稟議システムへの組み込みなどのトータルなソリューションを提供し、より利用価値の高いサービスを実践しているが、その反面、複雑なサイトのコンセプトをインターフェイスに反映しきれていないように感じる。トップページではサービス概要や導入メリットの説明に積極的にスペースを割いており、必要なものがすぐに購入できるというオンライン販売のメリットが犠牲になっている。ページレイアウトやグラフィックのクオリティは高く安心感があるが、それぞれの商品カテゴリーでは各提携サイトのルック&フィールがページ内に混在するため、購買プロセスに関する複雑なメンタルモデルが要求される。ユーザーの視点からシステムを再評価して、よりシンプルにすると使い勝手が向上するに違いない。

明に積極的にスペースを割いており、必要なものがすぐに購入できるというオンライン販売のメリットが犠牲になっている。ページレイアウトやグラフィックのクオリティは高く安心感があるが、それぞれの商品カテゴリーでは各提携サイトのルック&フィールがページ内に混在するため、購買プロセスに関する複雑なメンタルモデルが要求される。ユーザーの視点からシステムを再評価して、よりシンプルにすると使い勝手が向上するに違いない。

ROCKMONT
www.rockmont.co.jp

43点 (26+7+10)



トップページ左のカテゴリー別メニューは実用的な範囲で詳細に分類されており、少ない手順で目的の商品にたどり着くことができる。また全体的にテキスト中心の構成でページを読み込む際のストレスは比較的小さいが、各商品についての詳細情報や写真が不足気味なため、実際に買い物かごのアイコンをクリックするときに躊躇してしまう。サイトのアイデンティティを表す役割を果たしているヘッダーのフレームが下の階層ではなくなってしまうといった一貫性のないディテールが散見されるため、もう少し機能性と画面構成の脈絡を整理したほうがいいのではないかと感じる。また利用方法の解説を含めて、ユーザー体験全体のコンセプトをインターフェイスのデザインとして表現できると付加価値が上がるだろう。

実際に買い物かごのアイコンをクリックするときに躊躇してしまう。サイトのアイデンティティを表す役割を果たしているヘッダーのフレームが下の階層ではなくなってしまうといった一貫性のないディテールが散見されるため、もう少し機能性と画面構成の脈絡を整理したほうがいいのではないかと感じる。また利用方法の解説を含めて、ユーザー体験全体のコンセプトをインターフェイスのデザインとして表現できると付加価値が上がるだろう。

オフィス用品を購入する 読者体験レポート

東京都港区 (有)バースト 高橋優子さん

テストをしたサービス
・ASKUL
・orderit
・ROCKMONT



テストをした3か所だけでも、会員登録の方法はさまざまです。ROCKMONTは注文と同時に登録をするので手間がかかりませんが、ASKULはカタログを無料請求しないとネットでの会員登録ができず、またネットで登録の申し込みをしたあとにFAXでIDとパスワードを送信してくるので、時間と手間がかかります。orderitにいたっては、入会希望フォームを送信して、約2日後に入会申込書がFAXで届いてから記入して返信となります。登録手続きに最短でも7日かかるので、入会審査に厳重なのはいいですが、これでは、気軽に使いません。また、ASKULは総合検索が見当たらず検索できなかったため、欲しい商品のカテゴリーを考えるのが大変でした。でもログインしたあとは、左フレームにオーダーシートがあって、購入状況がわかりやすかったです。ROCKMONTは、検索できてもヒットしないことが多く、商品情報として画像のある商品が少ないので、どんなものが具体的にわからない場合がありました。また、納品時期の記載も見当たりませんでした。強いてあげれば、ASKULはまた使ってみたいですが、カタログとFAXの利用でも十分だと思いました。

東京都豊島区 デザイン集合セブラ 高橋観さん

テストをしたサービス
・esupply
・kaunet
・Offinet.com



一番好感が持てたのはkaunetです。いかにも事務用品といったものだけでなく、目新しいデザインのものもあり、選ぶのが楽しいサイトでした。また中分類から小分類へと商品も探しやすいです。けれども、登録の申し込みをしてから買い物に必要なパスワードが送られてくるまで数日かかったのはマイナスでした。Offinet.comはパソコン周辺機器からケーブル用スパイラルチューブなどの細かな商品まで充実していましたが、検索しにくかったです。たとえば「バインダー」で検索すると「バインダー元帳、単票バインダー、MPバインダー」などと専門用語が出てきます。これでは文房具に詳しくないとさっぱりわかりません。さらに、商品を3つ注文したところ、それぞれ別の小さな段ボールで3箱届けられて処分が大変でした。esupplyはパソコン関連の商品が充実していましたが、購入したコンパクトシュレッダーにはACアダプターが付属しておらず、別売りなのかどうかもわからなくて、いまだに使えません。3社ともに梱包材が多く、有料ゴミシールを貼って出す個人事業者にとっては「こんなにゴミが出るなら自分で買いに行こうかな」と思わせるほどでした。

読者
モニター
募集

「ECベンチマーク」では、実際のサービスを使い、その感想をレポートしてくれる人を募集します。何の商品を扱うかは、そのつど異なりますが、購入した商品はそのままと利用いただけます。もちろん費用はすべて編集部が負担します。商品の到着後には顔写真を撮って（デジカメ可）メールでレポートを送るだけ。ご応募をお待ちしております。

【応募方法】
住所、氏名、年齢、メールアドレスを記入のうえ、下記のメールアドレス宛てにメールをお送りください。モニターをお願いする方には編集部より追ってご連絡いたします。
【e-mail】
im-ecbench@impress.co.jp

サービス一覧表

254 ページの評価基準に基づき、オフィス用品のEC サイト 6 つを検証した結果をまとめたのが下の表だ。使い勝手の違いはあまり大きくないが、利用する企業によってどのポイントに注目するかは異なるはず。結果を参考に、用品を発注するサイトを決めてほしい。

サイト名 URL	ASKUL www.askul.co.jp	esupply www.esupply.co.jp/index_h.asp	kaunet www.kaunet.com
購入可能な商品	取り扱いカテゴリー 10 8 一通りの文房具をそろえることができるが、帳票類、紙類のバリエーションが少ない	原則としてOA サプライのみを取り扱うサイトだが、紙類の在庫は充実している	10 文具の品ぞろえは唯一。オフィスに必要な文房具なら、ほとんどすべてそろえようと言える
取り扱いメーカー	5 5 取り扱いメーカーは多いが、コクヨ製品の帳票、紙類の取り扱いが少ない	3 OA サプライに特化するだけあり、取り扱いメーカーは非常に広範囲にわたる	1 筆記用具と印鑑類を除くと、コクヨ商品への偏りが目立つ。紙類や帳票類は、ほぼコクヨ製品のみ
文房具以外の商品	5 5 4 カテゴリーの商品に加え、パソコン、書籍、生活雑貨までそろえる充実ぶりは魅力	4 机上小物以外の3カテゴリーに対応。OA用品の充実度が群を抜くため、1点加算した	5 4 カテゴリーに加え、オフィス用の生活用品(飲料など)も取り扱う
特別注文への対応	4 4 ほとんどの商品について「名入れサービス」を行っている	0 原則として特別注文には応じていない	4 各種の特別注文に応える「かうねつ工房」があるほか、「名入れサービス」も用意する
法令用紙への対応	1 0 ルーズリーフ式の「金銭出納帳」などはあるが、いわゆる法令用紙は用意されていない	0 法令用紙は(フォーマットも含めて)いっさい取り扱っていない	0 仕入帳などの帳簿類用紙はあるが、そのほかの法令用紙は取り扱っていない
登録方法	個人と法人の境界線 0 0 その規模を問わず、法人であれば登録可。個人事務所向けなどの姉妹サイトあり *1	0 規模を問わず、法人であれば登録可。個人向けのサイトも別途用意している	0 規模を問わず、法人であれば登録できる。なお、個人での利用はできない
会員登録の種類	3 2 部署ごとに登録できるが、同じ電話番号とFAX番号を重複して登録できない。実質は所在地ごとに	2 部署ごと、さらに担当者ごとに登録できる。同じ請求先を併用できる	2 同じ企業でも、連絡先が異なれば別に登録できる。個別に担当者登録を必要とする
会員登録の内容	2 0 請求書発行先と商品配送先は登録時の住所に限定される。担当者も1名のみ	2 発注のたびごとに配送先を指定できる。請求先の変更も可能だ	0 最初に登録した企業に対して請求書が発行される。個別に変更はできない
発注方法	検索機能の有無と充実度 3 0 キーワード検索などの機能は一切用意されていない。目的の商品を探すのは大変だ	2 キーワード検索と用途別検索を用意。利用するOA機器に応じた探せるのはうれしい	3 キーワード、価格帯、メーカーなどの項目で検索できる *詳細検索機能がある
発注までのステップ数	5 4 発注完了までのステップ数は4。手続きは少なく、入力すべき項目も少ない	1 完了までのステップ数は7。オプションが豊富なのはうれしいが、ステップ数は多い	4 発注時のステップ数は4。短い手順で発注できるのはうれしい
複数発注のステップ数	5 3 1アイテム追加するごとに、手順は2ステップ増える。一度に申し込める上限は20品目まで	2 1アイテム追加で、3ステップずつ増える。買い物かごがいちいち表示されるのは×	4 1アイテムの追加で増えるステップ数は1。複数商品の一括購入はしやすい
発注の下限	2 2 発注の下限はない。ただし、購入代金の合計が2,500円未満だと300円の配送料が必要	2 発注の下限はないが、代金の合計が5,000円未満だと配送料が必要(160円または500円)	2 発注下限はないが、代金の合計が2,500円未満だと300円の配送料が必要になる
商品の到着	標準配達時間 3 3 東京23区内、大阪市内などは当日配達。そのほか、全国規模で翌日配達が可能	0 在庫のある商品は1週間以内で配達。それ以外については納期をメールで連絡	3 11時までに発注すれば当日、18時までなら翌日に、それぞれ配達される *2
配達日時指定の可否	3 1 すべての商品の配達日を指定できる。また、翌日10時に配達するサービスもあり(有料)	1 配達日の指定はできる。発注時のコメント欄に希望日を記載すればOK	0 すべての商品について、配達日の指定ができる(発注時から1週間以内)
配達場所指定の可否	1 0 最初に登録した住所にしか配達しない。原則として指定できない	1 発注するたびに、商品の届け先を指定できる。そのぶん、発注のステップ数は多い	0 最初に登録した住所にのみ、配達を行う仕組み。発注時に場所を変更できない
実際の配達時間	5 5 平日の朝10時に発注した商品が、当日16時30分に到着した。配送は早い	0 手元に商品が届いたのは、注文から3日後のこと。もう少し早く届いてほしいところ	5 平日10時に発注した商品が、当日15時50分に手元に到着した。満足できる早さだ
梱包状況	3 3 各ポイントについて、きちんと考えた梱包がなされている。まったく問題はなかった	1 紙類だけなので加算は1点。梱包状況については、特に問題はなかった	3 梱包状況に問題は見られない。紙の濡れや帳票の折れなどはなかった
支払い関連	支払い方法の種類 5 2 原則として銀行振込のみ(手数料は利用者負担)。口座振替もあるのが1点加算	4 郵便振替以外の3方式に対応(個人カードも利用可)。さらに、毎回方法を指定できる	2 銀行振込のみに対応。2度目以降は口座振替も利用できるのが1点加算
支払い方法の詳細(振込)	5 2 毎月10日締め、15日ごろ請求書が届く。当月25日ごろ(幅あり)に銀行振込で決済	5 会員登録時に、ユーザーが自由に締め日と支払い日を決められる	2 締め日(月末)、振込日(翌月25日)ともにサイトから指定される。変更はできない
書類発行の有無	5 2 納品書と請求書が発行される。そのほかの対応については販売店による	2 商品とともに納品書が、指定した時期に請求書が、それぞれ発行される仕組みだ	2 商品とともに納品書が、締め日以降に請求書が、それぞれ発行される仕組み
その他	購入履歴 2 1 MY ASKULのページで、注文履歴を参照できる	1 登録した会員は、サイト上で注文履歴と蓄積されたポイントを確認できる	2 FAXから発注した購入履歴もサイト上で確認できる。これはとても便利だ
連絡メールの有無	1 1 発注後、自動返信で注文内容の確認メールが届く。トラブル時などもメールで連絡	1 発注後、自動返信で注文内容の確認メールが届く。トラブル時などもメールで連絡	1 発注後、自動返信で注文内容の確認メールが届く。納品時期の連絡などもメールで
アフターサービス	2 2 「365日返品保証制度」を実施。到着から365日以内にセンターに電話で連絡する	1 電話かメールで「返品受付票」を請求し、それを貼り付けてヤマト運輸の宅急便で送る	1 電話連絡し、「返品受付書」をFAXで受け取る。それを付けて商品を発送する
ユーザビリティ	ウェブデザイン評価 20 15 (73 × 0.2)	10 5 (52 × 0.2)	17 8 (86 × 0.2)
合計得点	100 70	48	74

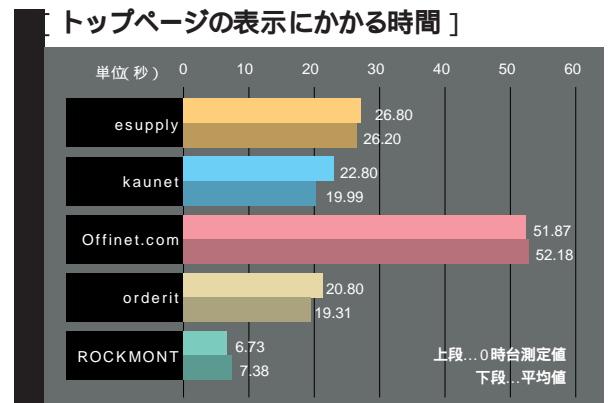
パフォーマンスチェック

オフィス用品サイトの

トップページのファイル形式上、測定ができなかったASKULを除く5つのオフィス用品サイトで、トップページの表示にかかる時間を調査した。1月31日(水)から2月4日(日)まで、4時間おきにDION、@nifty、ODNを使ってサイトにアクセス。この3つのプロバイダーで表示にかかった時間の平均値を取り、さらにすべての時間帯で要した時間の平均値を算出したものが右のグラフだ。

やはり、全体的にテキスト中心の構成

ですっきりした体裁のROCKMONTが、読み込み速度がダントツに速い。一方、トップページにアニメーションやマーキーなどの動く素材をいくつか施したOffinet.comは余分に時間がかかっているのは一目瞭然で、不満が残る結果となった。



*1 アスクル・ポータル portal.askul.co.jp
 *2 北海道、沖縄、離島地域はサービス対象外のため申し込みは不可
 *3 一部三県でも一部市町村は翌日配達。また、北海道、四国、九州は翌々日配達。なお、沖縄と離島地域はサービス対象外だが、別途対応も可能
 *4 コンビニ、郵便振替は「毎月15日ごろ」郵送される請求書で「着後10日以内」に決済。現金振込は「15日締め 20日ごろ請求書郵送 翌月10日払い」となる
 *5、*6 orderitは、ASKULやDELLなど複数のECサイトのポータルという位置付け。会員登録や決済などはorderitの仕組みを使うが、実際の商品検索や発注はASKULなど各サイトの仕組みを使う。表中、注記のないものはorderitのものについて言及した部分で、*6についてはリンクしているASKULの内容を採点した
 *7 同一の仕組みを利用した「ONESTEP」 www.onestep-jp.comもある。両サイトの違いはカバーする営業範囲。今回は検証都合上（筆者の会社は横浜市に、自宅は東京都内にある）ROCKMONTのみを取り上げたが、採点表のほとんどの項目はONESTEPにも当てはまる
 *8 「箱売り商品」（コピー用紙など）は、購入金額合計が2,500円以上で送料無料だが、2,500円未満だと300円の送料が必要

サイト名 URL	Offinet.com www.offinet.com	orderit *5 www.orderit.ne.jp	ROCKMONT *7 www.rockmont.co.jp	
購入可能な商品	取り扱いカテゴリ 10 取り扱いメーカー 5 文房具以外の商品 5 特別注文への対応 4 法令用紙への対応 1	4 帳票類は取り扱っていない。また、全般的に文房具のバリエーションは少ない 5 取り扱いメーカーは、ほぼ1メーカーに統一される。選択の幅はさほど広くない 5 4カテゴリに加え、雑貨類も扱う。プリンター用トナーの品ぞろえは非常に豊富 4 各種の特別注文には対応してあらず、カタログやサイトに記載された商品のみ購入できる 0 法令用紙の取り扱いが行っていない。また、帳票類もない	8 一通りの文房具をそろえることができるが、帳票類、紙類の種類は少ない*6 5 取り扱いメーカーは多いが、コクヨ製品の帳票と紙類の取り扱いが少ない*6 4 4カテゴリの商品に加え、パソコン、書籍、生活雑貨、花など多彩 4 ほとんどの商品について「名入れサービス」を行っている*6 0 「金銭出納帳」などはあるが、いわゆる法令用紙は用意されていない*6	6 一通りの文房具はそろえられる。ただし、各カテゴリ内でのバリエーションは少ない 3 カテゴリによって取り扱いメーカーの偏りがある。紙や帳票類はコクヨ製品のみ 5 4カテゴリの主要商品に加え、食品や生活雑貨なども取り扱っている 0 特別な注文への対応はしていない。サイト上に記載された商品のみ購入できる 0 「金銭出納帳」などはあるが、いわゆる法令用紙は用意されていない
登録方法	個人と法人の境界線 0 会員登録の種類 3 会員登録の内容 2	0 法人であれば規模は問わない。個人で利用できる別サイトも用意されている 3 登録にあたって、特に制限はない。部署ごとや所在地ごとなど、多様な登録ができる 0 商品の配送先はそのつど指定できるが、請求書の宛て先などは登録したところになる	0 orderitへの登録対象となるのは法人のみ。審査の結果、入会できない場合もある 2 原則は1社1登録だが、利用部署や利用者ごとにユーザーIDの発行ができる 1 請求書発行先は発注の内容に応じて変更できる	0 法人と個人いずれでも利用できる。初回登録時にチェックすればいい 3 複数登録の制限はない。部署ごと、所在地ごとなど、いろいろな登録ができる 2 登録したIDを使用せず、個々の発注時に送料先と請求先を決められる
発注方法	検索機能の有無と充実度 3 発注までのステップ数 5 複数発注のステップ数 5 発注の下限 2	3 キーワード検索あり。「分類一覧」「商品一覧」と分けた結果表示はわかりやすい 5 発注時のステップ数は4。カートが別フレームなのは使いやすい 5 1アイテムの追加で増えるステップ数は1。複数の商品の一括購入はしやすい 2 発注の下限はないが、代金の合計が2,400円未満だと300円の配送料が必要になる	2 キーワードとメーカー名などによる検索ができる 4 発注完了までのステップ数は4。手続きは少なく、入すき項目も少ない*6 3 1アイテム追加ごとに、手順は2ステップ増える。一度に申し込める上限は20品目まで*6 2 下限はないが、購入代金の合計が2,500円未満だと300円の配送料が必要*6	1 キーワード検索機能はあるが、複数語句の同時入力や絞り込みはできない 2 発注完了までのステップ数は5。発注完了後、トップページに戻れないのは不便 1 1アイテム追加ごとに3ステップ手順が増える。最大申し込み数の制限は特になし 1 原則として発注の下限はない。送料負担の有無は商品種別によって異なる*8
商品の到着	標準配達時間 3 配達日時指定の可否 3 配達場所指定の可否 1 実際の配達時間 5 梱包状況 3	3 一部三県は10時45分までの発注なら当日配達になる。ほかの本州地域は翌日*3 0 どの商品についても、配達日時の指定はできない 1 配達先を複数登録しておける。発注のつど、届け先を変更して申し込める 5 平日10時に発注した商品は、当日の16時に到着した。対応は素早いと言える 3 梱包状況に不満はない。3つのポイントすべてにわたり対応策が施されている	3 東京23区内、大阪市内などは当日配達。そのほか、全国規模で翌日配達が可能*6 1 すべての商品の配達日を指定できる。翌日10時に配達する仕組みもあり（有料）*6 0 最初に登録した住所にしか配達しない。原則として指定できない*6 5 平日の朝10時に発注した商品が、当日16時30分に到着した。配送は早い*6 3 各ポイントについて、きちんと考えた梱包がなされている。まったく問題はなかった	2 文具は12時まで、そのほかの商品は13時までに申し込みれば翌日配達される（地域ごとの差あり） 0 配達日時の指定は、原則としてできない 0 登録IDを使わなければ、配達先を指定のつど指定できる 3 平日朝10時に発注した商品は、翌日13時に到着した。利用上問題のない早さ 3 3項目それぞれ、まったく問題は見当たらない。きちんとした梱包状態で届けられた
支払い関連	支払い方法の種類 5 支払い方法の詳細（振込） 5 書類発行の有無 5	4 代引き以外の3つに対応（個人カード可）。郵便振替は、コンビニでの支払いもできる 2 締め日と支払い日は決まっている。支払い方法によって若干日程が変わる*4 2 商品とともに納品書が、締め日以降に請求書が、それぞれ発行される仕組み	2 原則は口座振替だが、銀行振込にも対応している（別途申し込みが必要） 2 出荷日を基準に計上し、月末締めの翌月末払いとなっている。変更はできない 2 納品書と請求書が発行される。そのほかの対応については販売店による	3 郵便振替または銀行振込が利用できる。別途申し込みめ、口座振替も使える 2 商品と同時に納品書と請求書が送られてくる。これを利用して振り込む仕組み 0 購入履歴を参照する仕組みは用意されていない
その他	購入履歴 2 連絡メールの有無 1 アフターサービス 2	2 購入履歴から、商品情報ページへジャンプできる。「いつも買うもの」の発注はラク 1 発注後すぐに、注文内容の確認と受付完了のメールが届く。ほかの連絡もメールで 1 出荷から14日以内に電話で連絡し、返品・交換を申し出る仕組み	2 文具以外の商品の購入履歴をまとめて参照できる。一括で使えるのは便利 1 発注後、自動返信で注文内容の確認メールが届く。トラブルなどもメールで連絡 2 商品到着後7日以内に電話かメールで連絡。手続きの通知が来るので、指示に従う	0 購入履歴を参照する仕組みは用意されていない 1 発注後、自動返信で注文内容の確認メールが届く。トラブルなどもメールで連絡 2 商品に同梱される納付書の日付けから60日以内に電話で連絡し、指示に従って返品
ユーザビリティ	ウェブデザイン評価 20	8 (4.2 × 0.2)	13 (6.6 × 0.2)	9 (4.3 × 0.2)
合計得点	100	58	72	50

総合評価

「企業ユーザーにとっての使いやすさ」を主眼に、主要な6つのオフィス用品サイトを検証した。その結果、ASKUL、kaunet、orderitの3つがほぼ同率1位となった。現状では、この3サイトの品ぞろえや使い勝手が群を抜いてよいことを示している。

先駆けとしてスタートしたASKULは、品ぞろえのバリエーションが豊富で、しかも配送が早いのが大きな魅力だ。サイトだ

けでなく発行しているカタログ本の内容も充実している。さらに、カタログに専用のCD-ROMを添付し、インターネットを通じた発注をやすくするなど、さまざまな工夫も盛り込まれている。このきめ細かさ、ユーザーに支持される理由だろう。会員登録や決済などで同じ仕組みを利用するorderitは、ASKUL以外にDELLなどのサイトとも連携したサービスを提供している。購入履歴や請求先など、さまざまなジャンルの商品の購入を一括で管理できることが最大の特徴となっている。

文具メーカーの大手コクヨが始めたkaunetは、基本的な長所はASKULと同

様だが、よくも悪くも自社製品に偏ったラインナップが特徴だ。オフィスにおけるコクヨ製品の普及度は高く、こと品ぞろえに関しては、オフィス用品サイトの新たな主役になることは間違いない。

今回検証した6サイトは、いずれも仕組みとしての完成度は高い。現状の流通事情では、当日（翌日）よりもさらに早いタイミングで、発注から配達までの処理を行うことは難しいだろう。そうすると、今後の課題は配達時間の早さではなく、取り扱いジャンルを広げる（現状では、街の文具店より少ないため）、検索機能を充実させる、などの改善が求められるはずだ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp